

第37回

東日本学生体操競技グループ選手権大会

要項

主催 関東学生体操連盟
東北・北海道学生体操連盟

主管 関東学生体操連盟
北海道体操協会

後援 公益財団法人 日本体操協会
江別市教育委員会
全日本学生体操連盟

協賛 セノー 株式会社
株式会社 ササキスポーツ
京王観光 株式会社

※本要項は、通常開催を想定して作成されている。

新型コロナウイルス感染状況等によっては、要項内容を変更する場合がある。

1. 期間

令和4年 4月15日(金) 会場セッティング、本会場練習
16日(土) 審判会議、監督会議、競技1日目
17日(日) 競技2日目

2. 会場

会場 野幌総合運動公園総合体育館
所在地 〒069-0832
北海道江別市西野幌481
TEL 011(384)2166

3. 参加資格

- (1) (公財)日本体操協会の会員登録システムから、各大学の所在地の都道府県体操協会に令和4年度の「所属団体・選手登録」(登録受付開始:令和4年3月14日～)を済ませ、その後、全日本学生体操連盟に「所属団体・選手加盟(連盟登録)」(登録受付開始:令和4年3月14日12:00～)を済ませた者。登録・加盟は4月

23日(土)までに完了すること。

- (2) 全日本学生体操連盟への「選手加盟(連盟登録)」が4回以下の者で、東日本学生体操連盟(東北・北海道支部、関東支部)に所属する大学(短期大学、専修学校、高等専門学校を含む)の者。
- (3) 第55回東日本学生体操競技選手権大会の参加資格を得ていない大学に限る。

4. 参加人数

- (1) チーム編成について
 - ・チーム編成は各大学単位とし、各校1チームとする。
 - ・男女とも、1チームは最大6名(最少5名)とする。
- (2) 個人参加について
 - ・男子・・・チームで参加する大学の個人参加は認めない。
 - ・女子・・・チームで参加する大学は4名までの個人参加を認める。

*大会出場選手総数を調整する為、女子チーム出場大学の個人参加については、参加選手数を減少させる場合がある。これについては、参加申込み(1次締め切り)後にHPで改めて連絡をする。

- (3) チームを組めない大学は、4名までの個人参加を認める。

5. 補欠について

- (1) チームの補欠は2名までとする。但し、女子チームに関しては、個人出場者が補欠を兼ねてもよい。
- (2) 個人参加のみの大学は補欠を認めない。

6. 選手変更・棄権について

- (1) 選手変更・棄権の申請は、監督会議開始までに所定の用紙(メンバーチェンジ・プログラム訂正用紙)で受付に提出すること。ただし、監督会議後に特別な理由で、大会本部への申請により監督会議終了後も選手変更を認める場合がある。
- (2) チーム出場の資格を有する選手は、予めID申請を行ったチーム5~6名、及び補欠2名の計5~8名であり、その他の選手との変更は認めない。ただし、補欠を兼ねた個人選手は、チーム出場の資格を有する。
- (3) 個人選手の変更は、全日本学生体操連盟に加盟した選手であれば認める。

7. 競技方法について

- (1) 適用規則
 - ・FIG競技規則に準ずる。
- <男子>
- 2022年版採点規則、最新版内規及び体操競技情報最新号を適用する。
- <女子>
- 2022年版採点規則、最新版内規及び体操競技情報最新号を適用する。

(2) 順位の決定

- ・団体総合選手権・各種目上位5名の得点の総合点で競う。
- ・個人総合選手権、種目別選手権・全種目の総合点で個人総合選手権、各種目の得点で種目別選手権を競う。

※ 0点は棄権ではなく、得点として扱う。

※ 新技申請については、4月15日(金)15時までに所定の用紙にて受付に提出すること。

ただし、選手変更による新技申請の場合は、監督会議開始までに受付に提出すること。

(3) 班編成

- ・昨年度グループ大会の成績により決定する。

(4) 開始種目

- ・大会本部の抽選により決定する。なお個人選手の演技順は繰り上げにする。

(5) 器具について

- ・男女共、(公財)日本体操協会認定器具を使用する(詳細は競技部報に記載する)。

8. 表彰

(1) 団体選手権の部・・・優勝杯、メダル1～3位、賞状1～8位

(2) 個人総合選手権の部・・・メダル1～3位、賞状1～8位

(3) 種目別選手権の部・・・メダル1～3位、賞状1～8位

※ 同点は同順位として表彰する。

9. 帯同審判員派遣について

(1) 本大会にチーム参加する大学は、男子2名、女子2名の1種もしくは2種審判有資格者の審判員を派遣しなければならない。また、個人出場のみ大学は、3名以上の個人が参加している場合、1名の審判員を派遣しなければならない。なお、その審判に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。

(2) 帯同審判員の1名は学生でもよい。また、男女いずれかがチーム参加する大学に対して、異性の審判員派遣を1名まで認める。

例：男子のみがチームで参加する場合、男子審判員2名の派遣義務が発生する。その場合、男子審判員1名、女子審判員1名の派遣も可能とする。

(3) 審判員を派遣できない大学は、25,000円をもって大会本部に依頼すること。

(4) (公財)日本体操協会委員を派遣する大学は、予め本部の承認を得なければならない。

(5) 各大学指導者(部長、監督、コーチ)を帯同審判員として派遣する場合は、「審判員・指導者兼任願い」を大会申し込み1次締め切りの書類と合わせて提出しなければならない。審判員となる指導者は、審判会議以降の大会期間中は所属選手の練習を指導することはできない。

(6) 審判構成は、その全てを大会本部に一任すること。

10. 補助役員派遣について

- (1) 男女共、本大会にチーム参加する大学は、4名の補助役員を派遣しなければならない。なお、その役員に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。
- (2) 補助役員を派遣できない大学は、1名につき7,000円をもって大会本部に依頼すること。

*補助役員が不足した場合は、大会参加選手が交代で補助役員業務を担当する。

その場合、派遣該当大学、担当日時、業務内容等について、後日改めてHPで連絡する。

11. その他

- (1) 競技区域に入れる者は全ての競技において、大会役員、審判員、補助役員、選手、補欠、チームリーダー、コーチ（個人4名以上は2名まで、3名以下は1名）、部長、監督、主務に限る。ただし補欠は監督会議以降アリーナ内には入ることは出来ない。

また部長、監督、主務は競技中の競技区域(競技部報参照)に入ることは出来ない。なお、音楽系のID保持者は音楽席のみで活動出来る。

また、段違い平行棒コーチ（女子）はチームに1名、個人出場選手には大学ごとに1名とする。

※ ID保持者であってもみだりに競技区域に立ち入ることを禁止する。

- (2) トレーナー申請を希望する大学は、ID申請書にあるトレーナー欄に記入をし、本大会申し込み最終締め切り日までに提出すること。なお、トレーナーは指定された場所のみで活動すること。

※トレーナーの申請人数は男女とも各1名とする。

- (3) 音楽の再生機器は各大学で準備すること。また、iPodなどのポータブルオーディオプレーヤーを使用する場合は、各大学専用のスピーカーを用意すること。
- (4) セッティング・カッティングは全員参加とする。セッティングに参加した大学のみ4月15日（金）の会場練習を出来るものとする。参加出来ない場合は所定の用紙に理由を書いて提出し、許可を得ること。
- (5) 会場の冷暖房については気温状況に応じて使用することとする。なお、使用する場合には監督会議で報告し、実費を徴収することがある。
- (6) 大会中の演技の撮影には、事前の撮影許可を必要とする。撮影を希望する大学は、所定の申請書を初日受付時に提出すること。

12. 参加申し込みについて

- (1) 参加費

1チーム	50,000円
個人（1名につき）	10,000円

帯同審判委員依頼費（1名につき）	25,000円
補助役員依頼費（1名につき）	7,000円

※例年徴収していた「保険料・救護費」については、参加費に含める。

- (2) HP上にある所定の用紙に必要事項を記入の上、大会本部にメール又は郵送で申し込むこと。
- (3) 締め切り期日
- 1次締め切り（参加申込書）・・・・・・・・・・ 3月18日（金） 18時必着
 - 最終締め切り（参加申込書以外）・・・・・・・・ 3月25日（金） 18時必着
 - HP 部報掲載予定日・・・・・・・・・・ 4月 1日（金）
- 新入生の出場が未確定の場合は、3月18日（金）までに、下記（7）の「申し込み・問い合わせ先」まで連絡すること
- (4) 参加料は、最終締め切りまでに本部所定の銀行へ必ず大学名（男女別）で振り込むこと。 振込例：女子の場合→ジョガクレンダイガク
男子の場合→ダンガクレンダイガク
- (5) 参加費振込先
- 三井住友銀行 渋谷支店 店番号654
 - 普通口座番号 9167048
 - 東日本学生体操競技グループ選手権大会
 - 担当者：小賀坂 楓
- (6) 締め切り期日以降の申し込みは受け付けない。締め切り期日以降の欠場は認めるが、原則として参加費は返金しない。
- (7) 申し込み・問い合わせ先
- 〒160-0013
 - 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 8階（公財）日本体操協会 気付
 - 関東学生体操連盟 第37回グループ選手権大会係
 - FAX 03-6455-4038
 - E-mail gymgakurenn@yahoo.co.jp（問合せ先）
 - HP <http://kantogakurenn.noor.jp>
 - 担当者 （男子）湯川 晋乃介 （女子）金澤 涼

13. 第55回東日本学生体操競技選手権大会出場について

本大会は第55回東日本学生体操競技選手権大会（以下、東インカレと記す）の予選を兼ねており下記の通過基準により予選通過チーム、個人を決定する。

なお、この出場資格の確認は、グループ大会での「東日本インカレ通過者会議」において最終決定し、その後の繰り上げは行わない。（以下、グループ大会において個人で出場資格を得た選手を「予選通過個人選手」と記す）。

<男子>

- ・チーム 団体総合選手権上位7校
- ・予選通過個人選手 個人総合選手権上位18名（チーム通過大学以外の大学に所属する選手より）

<女子>

- ・チーム 団体総合選手権上位5校
- ・予選通過個人選手 個人総合選手権上位16名（チーム通過大学以外の大学に所属する選手より）

※ 同じ大学に所属する5名の選手が予選通過個人選手となった場合、当該選手所属大学の本大会へのチーム出場を認める。但し、これによる予選通過個人選手の繰り上げはしない。

※ チーム通過校が規定数より少なかった場合、1チームにつき予選通過個人選手を5名（5枠）増やすこととする。

14. 第55回東日本学生体操競技選手権大会の参加申込について

通過者会議終了後、その会場にて東日本学生体操競技選手権大会の参加申し込みを行う。通過の見込みのある大学は、参加申込書等を記入して会議終了後に提出できるよう準備しておくこと。なお、参加費等については、グループ大会終了2日後（4月19日）までに所定の口座に振り込めるよう準備しておくこと。

同点順位について

①表彰について

団体総合選手権 個人総合選手権 種目別選手権	同点は同順位として表彰する。
------------------------------	----------------

②通過に関する順位付けについて

団体総合選手権	<ul style="list-style-type: none"> 全種目（男子6種目、女子4種目）のチーム得点の中で、最低点の種目得点を除いた残りの種目（男子5種目、女子3種目）の得点の合計が高いチーム。 それでも同点の場合は2種目の最低得点を除く残りの合計の高いチーム。（さらに同点の際は、男子5種目、女子3種目まで最低点を除き、残りの種目の合計の高いチーム） 最低種目得点の男子5種目、女子3種目を除いても尚同点の場合は、同順位とする。
個人総合選手権	<ul style="list-style-type: none"> 団体と同じ方法を用いて、残りの種目合計の高い者。
種目別選手権	<ul style="list-style-type: none"> その大会における個人総合順位の高い者。

※この方法は、学生連盟が主催とする大会のみ適用とする。